

◆災害時のシェアサイクル活用

災害発生時、公共交通機関の運行停止や、道路渋滞が予想されるなか、自治体職員による復旧活動のための移動を効率化する手段として、シェアサイクルを活用できる体制を構築しています。災害応急対策等において、シェアサイクルを利用することにより、災害に対する初期対応や被害調査等の円滑な遂行を図ることを目的としています。ドコモ・バイクシェアでは、品川区、文京区、港区、大阪市北区、大分市、金沢市、横浜市と「災害時における自転車シェアリングサービスの利用等に関する協定」を締結し、連携自治体には有事専用の緊急用ICカードを配布しています。大きな災害の際は一時的に一般のお客様向けサービスが利用停止となる場合がありますが、通信が可能なエリアであれば緊急用のICカードをかざすことで速やかにシェアサイクルを使用することができます。平時にお客様の快適な移動を実現するだけでなく、有事の際にも地域社会に貢献するシェアサイクルサービスを目指しています。

